



豪奢なレンガ造りのフランスホテル（右）とエドワード・ロジャースの邸宅（長崎外國語大所蔵）

## 大浦のフランスホテル

写真に見る

115年前の長崎

日露戦争時代

姫野 順一

□10□

写真は明治30年代に撮影された大浦33番（現長崎孔子廟横）のオтель・デ・フランス（通称フランスホテル）と、33番甲（現長崎あじさい病院）の日清貿易商社首席代理人エドワード・ロジャースの和風洋館住宅。

日清戦争後、日本郵船がシートル航路に、東洋汽船

がサンフランシスコ航路に参入し、長崎は九州の国際貿易港となり、雲仙も保養地として整備され、アメリカ

人を主客とし、長崎で最も

しかし運悪く日露戦争で客足が途絶え、明治37（1904）年に倒産する。シ

リヨン出身のシロは、上

海の税関で5年働いた後、

明治28（1895）年に長

崎を訪れ、フランス海軍に

石炭・食料を納入するガイ

ヤール商会の支配人を務め

た。明治31年に独立し、翌

32年に日系フランス人バル

オウグステインを明治38年

に26歳で失っている。

メ夫妻の長女アナ・スイ

ズと結婚。家族ぐるみでワ

イン商やパン屋、自転車販

の宮下に売却され、支配人

はアンリからリネ・シユバ

豪奢なレンガ造りのフラン

スホテルを開業した。ホテ

ルはロシア人とヨーロッパ

人を主客とし、長崎で最も

洗練していた。

リヨン出身のシロは、上

海の税関で5年働いた後、

明治28（1895）年に長

崎を訪れ、フランス海軍に

石炭・食料を納入するガイ

ヤール商会の支配人を務め

た。明治31年に独立し、翌

32年に日系フランス人バル

オウグステインを明治38年

に26歳で失っている。

メ夫妻の長女アナ・スイ

ズと結婚。家族ぐるみでワ

イン商やパン屋、自転車販

の宮下に売却され、支配人

はアンリからリネ・シユバ

豪奢なレンガ造りのフラン

スホテルを開業した。ホテ

ルはロシア人とヨーロッパ

人を主客とし、長崎で最も

洗練していた。

リヨン出身のシロは、上

海の税關で5年働いた後、

明治28（1895）年に長

崎を訪れ、フランス海軍に

石炭・食料を納入するガイ

ヤール商会の支配人を務め

た。明治31年に独立し、翌

32年に日系フランス人バル

オウグステインを明治38年

に26歳で失っている。

メ夫妻の長女アナ・スイ

ズと結婚。家族ぐるみでワ

イン商やパン屋、自転車販

の宮下に売却され、支配人

はアンリからリネ・シユバ

豪奢なレンガ造りのフラン

スホテルを開業した。ホテ

ルはロシア人とヨーロッパ

人を主客とし、長崎で最も

洗練していた。

リヨン出身のシロは、上

海の税關で5年働いた後、

明治28（1895）年に長

崎を訪れ、フランス海軍に

石炭・食料を納入するガイ

ヤール商会の支配人を務め

た。明治31年に独立し、翌

32年に日系フランス人バル

オウグステインを明治38年

に26歳で失っている。

メ夫妻の長女アナ・スイ

ズと結婚。家族ぐるみでワ

イン商やパン屋、自転車販

の宮下に売却され、支配人

はアンリからリネ・シユバ

豪奢なレンガ造りのフラン

スホテルを開業した。ホテ

ルはロシア人とヨーロッпа

人を主客とし、長崎で最も

洗練していた。

リヨン出身のシロは、上

海の税關で5年働いた後、

明治28（1895）年に長

崎を訪れ、フランス海軍に

石炭・食料を納入するガイ

ヤール商会の支配人を務め

た。明治31年に独立し、翌

32年に日系フランス人バル

オウグステインを明治38年

に26歳で失っている。

メ夫妻の長女アナ・スイ

ズと結婚。家族ぐるみでワ

イン商やパン屋、自転車販

の宮下に売却され、支配人

はアンリからリネ・シユバ

豪奢なレンガ造りのフラン

スホテルを開業した。ホテ

ルはロシア人とヨーロッパ

人を主客とし、長崎で最も

洗練していた。

リヨン出身のシロは、上

海の税關で5年働いた後、

明治28（1895）年に長

崎を訪れ、フランス海軍に

石炭・食料を納入するガイ

ヤール商会の支配人を務め

た。明治31年に独立し、翌

32年に日系フランス人バル

オウグステインを明治38年

に26歳で失っている。

メ夫妻の長女アナ・スイ

ズと結婚。家族ぐるみでワ

イン商やパン屋、自転車販

の宮下に売却され、支配人

はアンリからリネ・シユバ

豪奢なレンガ造りのフラン

スホテルを開業した。ホテ

ルはロシア人とヨーロッパ

人を主客とし、長崎で最も

洗練していた。

リヨン出身のシロは、上

海の税關で5年働いた後、

明治28（1895）年に長

崎を訪れ、フランス海軍に

石炭・食料を納入するガイ

ヤール商会の支配人を務め

た。明治31年に独立し、翌

32年に日系フランス人バル

オウグステインを明治38年

に26歳で失っている。

メ夫妻の長女アナ・スイ

ズと結婚。家族ぐるみでワ

イン商やパン屋、自転車販

の宮下に売却され、支配人

はアンリからリネ・シユバ

豪奢なレンガ造りのフラン

スホテルを開業した。ホテ

ルはロシア人とヨーロッパ

人を主客とし、長崎で最も

洗練していた。

洗練されたレンガ造り

いる。

（長崎外國語大学長）

隨時掲載します

豪奢なレンガ造りのフランスホテル（右）とエドワード・ロジャースの邸宅（長崎外國語大所蔵）